

産 業 廃 棄 物 処 理 計 画 書

令和2年 6月25日

鹿児島県知事 殿

報告者

住 所 鹿児島県薩摩川内市宮内町1番26号

氏 名 中越パルプ工業株式会社 川内工場

執行役員工場長 下川 靖博

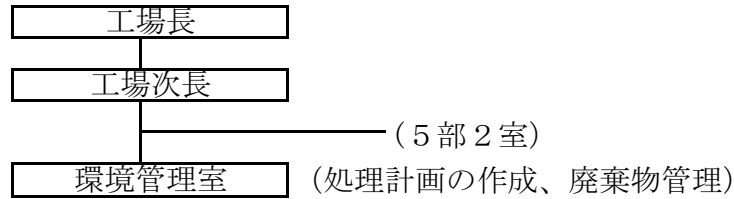
電話番号 0996 (22) 2211

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	中越パルプ工業株式会社 川内工場
事業場の所在地	鹿児島県薩摩川内市宮内町1番26号
計画期間	令和2年4月1日から令和3年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	大分類：製造業 中分類：パルプ・紙・紙加工品製造業 小分類：洋紙製造業
② 事業の規模	前年度の製品出荷額 300億円
③ 従業員数	284人（令和2年4月21日時点）
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別添1 産業廃棄物処理工程

産業廃棄物の処理に係わる管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別添 内訳表	
	排出量	別添 内訳表 [1]	t
	(これまでに実施した取組) ・ 構内回収物（廃棄物・有価物）の分別強化 ・ 抄紙工程の歩留り向上により原料及び薬品の流出抑制		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別添 内訳表	
	排出量	別添 内訳表 [2]	t
	(今後実施する予定の取組) ・ 排出抑制、各種減量化対策 ・ 工程廃棄物の場内有効利用法模索、推進		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 紙くず・・・古紙利用できるものと、ラミネート紙などの再生に向かないものを分別等 分別数の詳細は別添内訳書の種類欄参照
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 廃プラ・・・有価引取りとなる種類が減少、また要求スペックも厳しくなることからより構内廃棄ルールを見直す ・ その他・・・従来混廃としていた廃棄物についても、分別の可否について再検討する。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別添 内訳表	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	別添 内訳表 [3]	t
	(これまでに実施した取組) 木質バイオマスボイラのばいじんを汚泥脱水助剤として利用することで産廃発生量を削減した。(平成29年1月より) ※以降は場内有効利用の為、産廃としてのカウントはしていません。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別添 内訳表	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	別添 内訳表 [4]	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別添 内訳表	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	別添 内訳表 [5]	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	別添 内訳表 [6]	t
②計画	(これまでに実施した取組) ・不良PS炭(燃え殻2)については、従来工程に戻しきれない分を廃棄物処理していたが堆肥の水分調整剤として有価引取りが可能となり、リデュースに繋がった。		
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別添 内訳表	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	別添 内訳表 [7]	
②計画	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	別添 内訳表 [8]	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別添 内訳表	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	別添 内訳表 [9]	t
	(これまでに実施した取組) ・ 自社で埋立処分又は海洋投入処分は実施しておりません。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別添 内訳表	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	別添 内訳表 [10]	t
	(今後実施する予定の取組) ・ 自社で埋立処分又は海洋投入処分を行う予定はありません。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別添 内訳表	
	全処理委託量	別添 内訳表 [11]	t
	優良認定処理業者への処理委託量	別添 内訳表 [12]	t
	再生利用業者への処理委託量	別添 内訳表 [13]	t
	認定熱回収業者への処理委託量	別添 内訳表 [14]	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別添 内訳表 [15]	t
	(これまでに実施した取組) ・ すでにリサイクル処理の廃棄物についても、高次リサイクルに転換していけるよう、新規処分先の開拓を進めてきている。 ・ 取引先管理の一環で定期的に許可証の期限のチェック及び委託先事業者の事業場現地視察を実施し、適正処理及び各種法令の順守状況を確認している。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別添 内訳表	
	全処理委託量	別添 内訳表 [16]	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	別添 内訳表 [17]	t
	再生利用業者への 処理委託量	別添 内訳表 [18]	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	別添 内訳表 [19]	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	別添 内訳表 [20]	t
<p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き現在の取り組みを推進していく。 廃プラの世界的な動きがある中で市場の動向も見ながら適切に処分し、その中でも極力国内でのマテリアルリサイクルへ繋がるような処分先を検討していきたい。 			
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000 トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

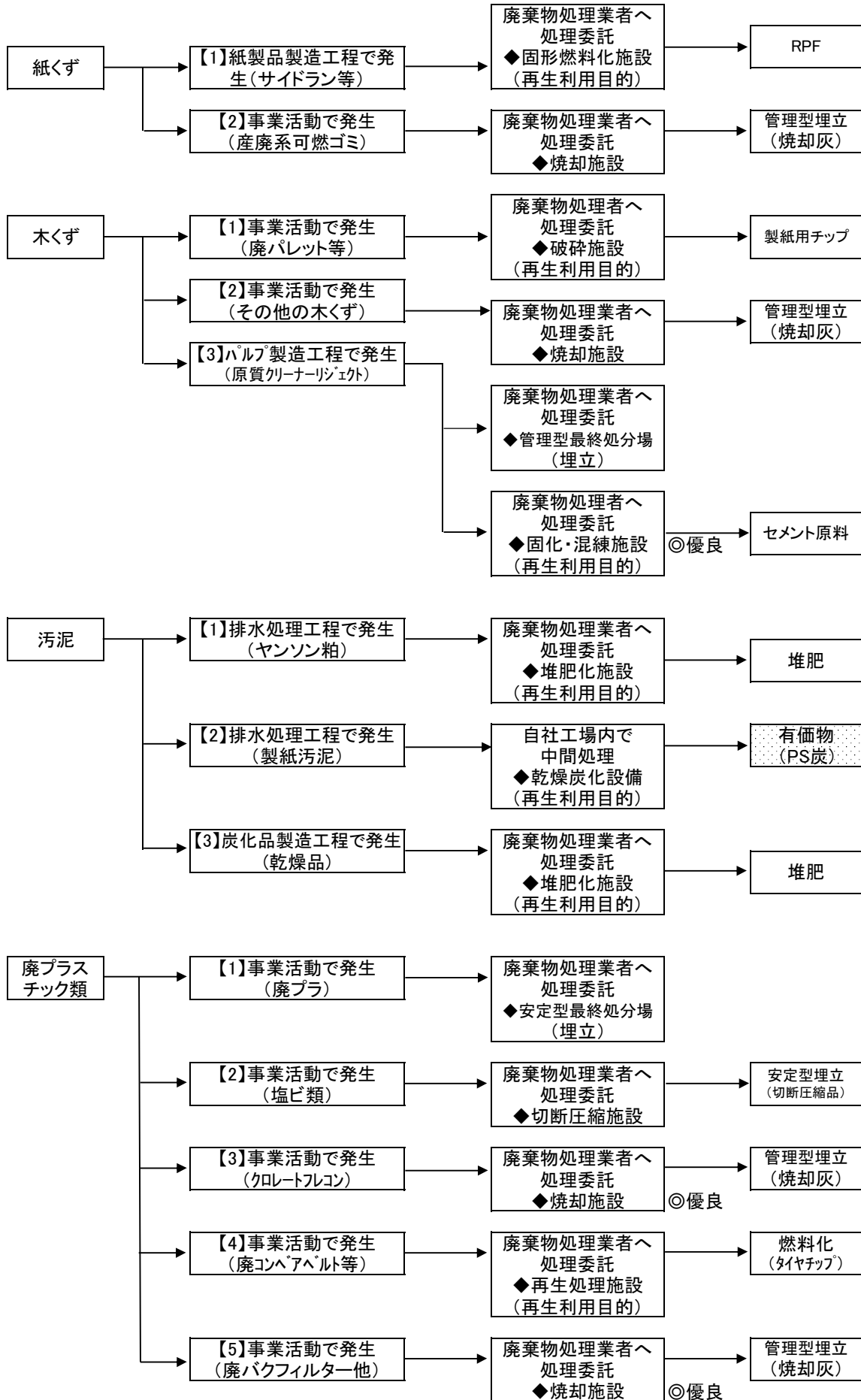
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。

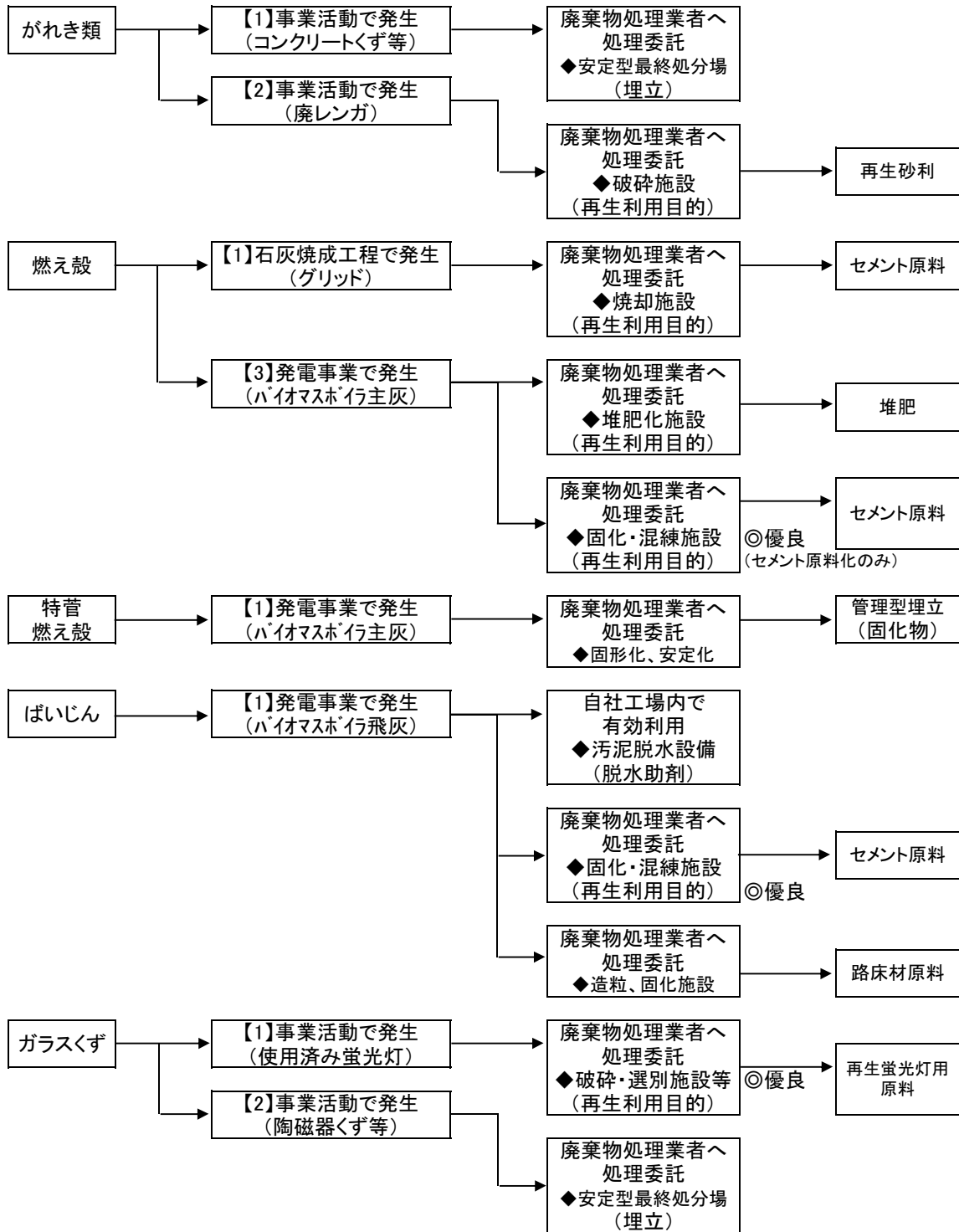
4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、全年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「-」を記入すること。

7 ※欄は記入しないこと。





産業廃棄物(特別管理産業廃棄物)処理計画書 廃棄物の種類が複数ある場合この表を使用してください

別添内訳書

(お願い: 2種類までは計画書に記載することができますが、集計が便利になりますのでなるべくこの表に記載してください)

数字(t)

廃棄物の種類		紙くず【1】	紙くず【2】	木くず【1】	木くず【2】	木くず【3】	汚泥【1】	汚泥【2】	汚泥【3】	廃プラ【1】	廃プラ【2】	廃プラ【3】	廃プラ【4】	廃プラ【5】	がれき類【1】	がれき類【2】	燃え殻【1】	燃え殻【2】	特管燃え殻【1】	ばいじん【1】	ガラス屑【1】	ガラス屑【2】	合計	
廃棄物の排出の抑制に関する事項																								
①現状(元年度実績)	排出量【1】	51	200	11	18	51	39	10	200,756	17	6	13	6	1	135	25	588	379	41	66	0.3	16	202,429	
②計画(2年度計画)	排出量【2】	48	189	10	17	48	37	10	190,397	16	6	12	5	1	128	23	557	360	39	63	0.2	15	191,981	
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項																								
①現状(元年度状況)	自ら再生利用を行った量【3】	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
②計画(2年度計画)	自ら再生利用を行う量【4】	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項																								
①現状(元年度状況)	自ら熱回収を行った量【5】	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	自ら中間処理により減量する量【6】	0	0	0	0	0	0	0	189,603	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	189,603
②計画(2年度計画)	自ら熱回収を行った量【7】	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自ら中間処理により減量する量【8】	0	0	0	0	0	0	0	171,357	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	171,357
自ら行う産業廃棄物の埋立処分に関する事項																								
①現状(元年度状況)	自ら埋立処分を行った量【9】	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
②計画(2年度計画)	自ら埋立処分を行う量【10】	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
産業廃棄物の処理の委託に関する事項																								
①現状(元年度状況)	全処理委託量【11】	51	200	11	18	51	39	10	0	17	6	13	6	1	135	25	588	379	41	66	0.3	16	1,672	
	(内訳)優良認定処理業者へ処理を委託した量【12】	0	0	0	0	51	0	0	0	0	0	13	0	1	0	0	588	19	0	66	0.3	0	737	
	(内訳)再生処理業者へ処理を委託した量【13】	51	0	8	0	51	39	10	0	0	0	0	6	0	0	25	588	379	0	66	0.3	0	1,223	
	(内訳)認定熱回収業者へ処理を委託した量【14】	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	(内訳)認定以外の熱回収業者へ処理を委託した量【15】	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
②計画(2年度計画)	全処理委託量【16】	48	189	10	17	48	37	10	0	16	6	10	5	1	128	23	557	360	39	120	0.2	15	1,639	
	※(内訳)優良認定処理業者へ処理を委託する量【17】	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	1	0	0	557	19	0	120	0.2	0	707	
	(内訳)再生利用業者へ委託を委託する量【18】	48	0	10	0	0	37	10	0	0	0	10	5	0	0	23	557	359	0	120	0.2	0	1,179	
	※(内訳)認定熱回収業者へ処理を委託する量【19】	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	(内訳)認定以外の熱回収業者へ処理を委託した量【20】	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※契約業者が年度中認定を取得する場合は考慮していません。